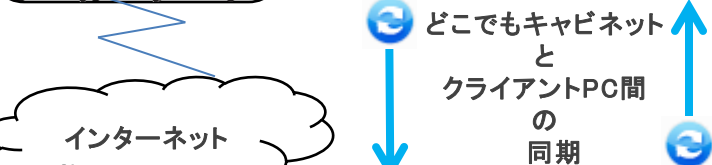
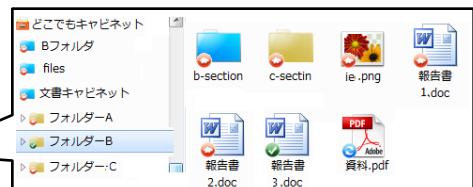


Windows版アプリでの削除操作についての注意事項

どこでもキャビネットとは

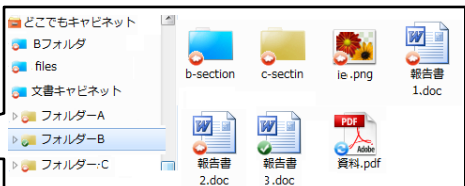
インターネットを介して「どこでもキャビネット」にあるデータを参照・編集したり、ローカルにあるファイルをどこでもキャビネットにアップロードしたりできます。クライアントの操作はどこでもキャビネットに同期されます。

どこでもキャビネット



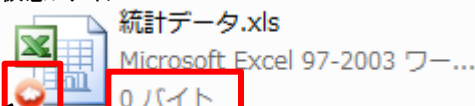
インターネット

クライアントPC



POINT 仮想ファイルはファイルサイズが「0バイト」と表示されます。

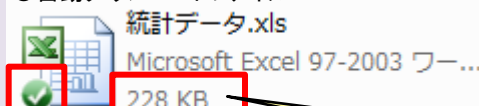
●仮想ファイル



仮想状態のアイコンです

「0バイト」と表示されます。

●自動ダウンロードファイル



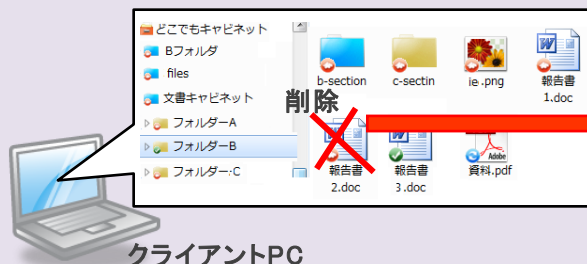
自動ダウンロード状態のアイコンです

実ファイルサイズが表示されます。

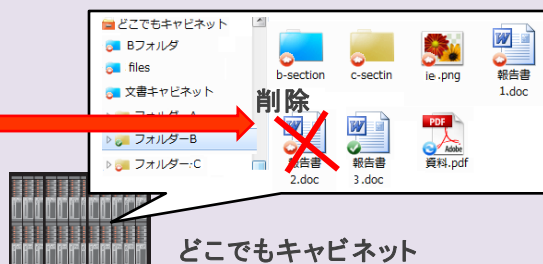


注意 削除されたファイルはごみ箱に移動されますが、**10日後**に自動削除されます！ご注意ください。

Windows版アプリはどこでもキャビネットのデータを操作しています。仮想ファイルでも自動ダウンロードファイルでも、ファイルを削除した場合、ファイルは「どこでもキャビネット」のごみ箱に入り、Windowsのごみ箱には入りません



クライアントPC



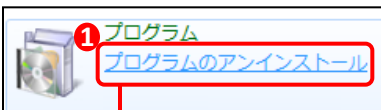
どこでもキャビネット

Windows版アプリ アンインストール方法

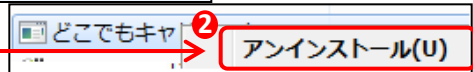
※本手順はWindows7の場合の画面例です。

1 コントロールパネルを起動する

①コントロールパネルを起動し、「プログラム」のアンインストールをクリックします。

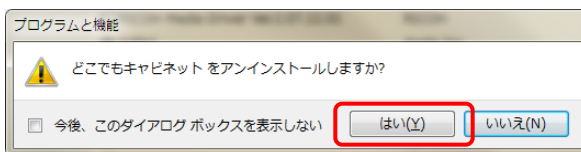


②「どこでもキャビネット」を選択して右クリックし、「アンインストール」をクリックします。



2 アンインストールする

確認画面が表示されます。「はい」をクリックします。ウィザードに従い、アンインストールしてください。



※アンインストール後は再起動が必要です。「はい」をクリック前にオープンしているファイルを保存してください。

■削除されたファイルについて

「ごみ箱」機能から、削除後10日間以内であれば、削除したファイルに戻すことが可能です。**10日間経過すると自動削除されます**ので、ご注意ください。

ただし、管理者様が「削除データ管理」にてファイルを削除済みの場合は、その限りではありません。

